

学習課題（小学校4年生）



【国語】計画を立てて少しずつ取り組んでいきましょう。

＜学習内容＞

◆「つなぎ言葉のはたらきを知ろう」（教科書 81～83 ページ）を学習します。今回は、教科書 83 ページの□ □に取り組めます。

□ 82 ページの表をさんこうに、「つなぎ言葉」を使い、ノートや取組シートに①～⑥の文のつづきを書きましょう。

【例】①明日は晴れるらしい。それで、友達と公園で遊ぶ約束をした。

明日は晴れるらしい。では、明後日の天気はどうなるのだろう。

※つなぎ言葉によって、文のつづきはいくつも考えられます。何種類か考えてみるのも楽しいですね。

□ 次の□ に、「だから」「しかし」を入れると、どのような気持ちのちがいが表れますか。ノートや取組シートにつなぎ言葉を入れて、文を写しましょう。また、表れる気持ちのちがいを考えてみましょう。

【例】・徒競走のとき、必死で走った。□、二着だった。

「だから」を入れると、_____。

例

◆「短歌・俳句に親しもう（一）」（教科書 84～85 ページ）

に取り組めます。何度も声に出して読み、言葉の調子やひびきを楽しみましょう。

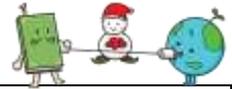
①教科書 84～85 ページの短歌・俳句を声に出して読みましょう。各句の切れ目（五音・七音）を意識し、 線を引きましょう。

②気に入ったものを覚えて、お家の人に聞いてもらいましょう。

名月や
池をめぐりて
夜もすがら

＜保護者による関わり方のポイント＞※可能な範囲でお願いします。

・「短歌・俳句に親しもう（一）」の学習の際には、教科書 P85 に掲載されている QR コードから、短歌・俳句の朗読を聞くことができます。言葉の調子や響きを確認する際に、ご活用ください。



【社会】

<学習内容> 「ごみが生まれ変わる」 「ごみしよりがかかえる問題」

◆教科書 90～93 ページや地図帳、持っている資料などをもとに、ごみのしよりについて調べ、取組シートやノートに取り組もう。

ことば(教科書 P91)

(1) びん・かん・ペットボトルはリサイクルされて、どのようなものに生まれ変わるかな。

びん⇒ ()

かん⇒ ()

ペットボトル⇒ ()

ことば(教科書 P93)

(2) 3Rのそれぞれの意味にふさわしい言葉をえらび、線でつなごう。

ごみになるものをへらすこと・	・リデュース
ふたたび使えるようにすること・	・リユース
何度もくり返し使うこと・	・リサイクル

(3) ごみしよりにには下のア～ウのような問題があります。一番問題だと思うものをえらんで、その理由を書きましょう。

ア もやせるごみともやせないごみをいっしょにするなど、ごみの分別をしないでごみを出す人がいる。

イ ごみのしゅう集やしよりにだけでなく、せいそう工場が古くなると、新しい工場が必要になるなど、ごみしよりにかかるお金がかかる。※札幌市の2018(平成30)年は216億円

ウ ごみのうめ立て地はやがていっぱいになるので、新しいうめ立て地をさがさないといけない。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・身の回りでリサイクルされているものを探したり、ごみ問題について自分たちの生活と関連付けて一緒に考えたりすると、意欲的に学ぶことができるだけでなく、リサイクルやごみの処理への意識が高まり、自分の行動を振り返るきっかけになります。

【算数】

「※」は学習するときのヒントです。

8まいや20まいより、もっとたくさんの折り紙を使いたいね。

＜学習内容＞

◆「2けたの数のわり算」（教科書 75～76 ページ）

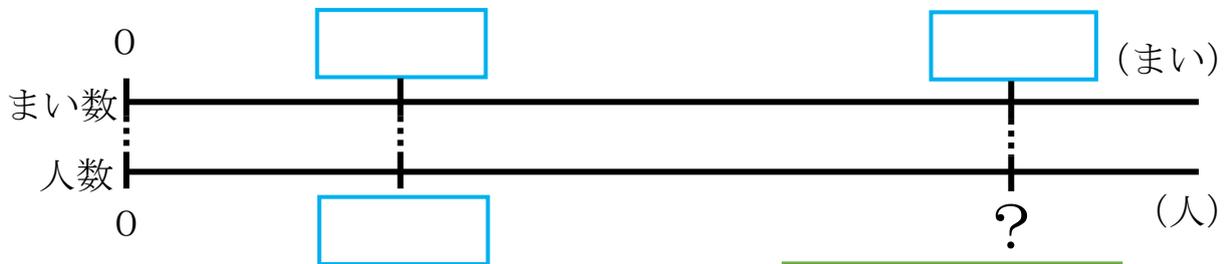
折り紙が140まいあります。1人に40まいずつ配ると、何人に分けられるでしょうか。



(1) 下の数直線に、赤ペンで数や矢じるしなどを書きくわえて、どんな式になるか考えましょう。

※図を使うと、考えたり表したりする力が身につくよ。

※教科書 165 ページ「数直線のかき方」をさんこうにしてみてね。



式

※「10 をもとにして」考えると、あまりが出そうだよ。



(2) ゆうきさんともえさんは、あまりについて次のように考えました。



ゆうきさん

「10 をもとにして」考えると、答えは3あまり2になるよ。だから答えは、「3人に分けられて2まいあまる」だね。



もえさん

「2まいあまる」で、本当にいいのかな。もっとたくさんのまい数があまると思うよ。

あなたは、ゆうきさんともえさん、どちらの考えに近いですか。下の四角の中に、自分の考えを書きましょう。

計算では「3あまり2」だけど、あまりは2まいでいいのかな。



「10をもとにして」考えた時、あまりはどうやって求めるの？

- (3) 140まいの折り紙を1人に40まいずつ配ると、何人に分けられて何まいあまるか考え、図と言葉で説明しましょう。

答え

- (4) たかしさんは、次のように考えました。



たかしさん

もし、 $130 \div 30$ という計算でも「10のまとまりが何こ分か」と考えれば、あまりを求められそうだね。

- $130 \div 30$ の計算のしかたを考え、図や式、言葉で説明しましょう。

- (5) 教科書76ページ3を、ノートか取組シートに書きましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

◆2けたの数のわり算（教科書P75～P76）

- ・ $140 \div 40$ というあまりが出る計算も、「140は10が14個分で、10のまとまりを4個ずつ配ると…」と10をもとにして考えます。このような活動を大切にすることで、あまりの数の大きさを捉える力につながります。

【理科】

<学習内容>

◆「暑くなると」（教科書 66～70 ページ）を見て、暑くなって自然の様子が春のころと、どのように変わっているのか考えましょう。

①教科書 66～67 ページの「春のようす」と「このごろのようす」の 2 まいのしゃしんをくらべて変わったところや気付いたこと、ぎもんに思ったことを取組シートやノートに書きましょう。

※植物の色はどのように変わったかな。

※植物の大きさが変わったところはあるかな。

②暑くなって、植物のようすがどのように変わっているのか調べるために、サクラとヘチマを観察することにしました。教科書 70 ページのサクラとヘチマの絵を見て、観察記録を取組シートやノートにかきましょう。また、ようすが変わった理由についても書き入れましょう。

※形や色、大きさはどのように変わったかな。

※植物の葉やくきは、どのように変わったかな。

※教科書 70 ページの観察カードのようにかけるかな。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- ・この学習では、春の頃の様子と夏の頃の様子を比べることで、暑くなると自然の様子が変わることに気付くことを大切にしています。また、サクラやヘチマは春の頃と比べて、大きく変化していることに気づき、その理由について考えることを大切にしています。